

館報 境町

令和2年9月1日 発行



9月号

横手市上境字谷地中 144 番地 1
境町公民館 TEL 36-1200
(ふるさと館内) FAX 32-7875
境町簡易郵便局 TEL 36-2462

おらほのまちの健康づくり

境町健康の駅

9月23日(水)

午後1時30分～午後2時30分

会場:ふるさと館 和室

定員:12名程度

9月のテーマ

らくらく体操



※感染症対策をしながらの講座
となります。

秋の館内

大 清 掃



9月3日(木)

利用団体のみなさんと大清掃を行います。

ふるさと館の施設予約



9月1日(火)

朝8時30分開始

11月分の施設予約を受付いたします。

横手地域公民館 講座案内



朝倉・横手中央
公民館共催

若き山村暮鳥と横手

9月25日(金)

午前10時～午後11時30分

会場:あさくら館

定員:24名(先着順)

小学校6年の国語の教科書に掲載されて
いる詩『春の河』。この詩の作者である
山村暮鳥と「横手」にまつわる知られざる
縁(えにし)をご紹介します。

講師:横手郷土史研究会

副会長 伊藤 武士さん

■9月3日申込開始

申込先:朝倉公民館 ☎35-2138



里帰り・後継苗木植樹から3年

ぜんみょうあん

善明庵の松は今？

～善明庵の松とは？～

「善明庵の松」は、下八丁字北松林にあったアカマツで、推定樹齢350年・樹高18m・幹回り3.4mで、枝が傘状に広がった県内でも稀に見る傘状の巨木として昭和51年に県指定天然記念物に指定されました。

後三年合戦の戦没者を埋葬したという口伝があり、その姿から『傘松』とも呼ばれ、境町のシンボルとして地元住民の皆さんから愛されておりました。

ところが、平成2年に樹幹が割れ、修復を行っていましたが、平成24年の強風により大きな被害を受け、再生には至ることができず、翌25年には、周囲に危険が及ぶ前に伐採されました。

その後、市では、東北育種場に伐採した枝をもとに後継苗木の育成を依頼。平成29年5月に同じ遺伝子型をもつ後継苗木が里帰りし、地元住民の皆さんに見守られながら「善明庵のマツ」の孫にあたる苗木3本が植樹されました。



強風被害を受ける前の善明庵の松
(平成3年ごろ)



里帰りの孫松の植樹式の模様(平成29年)
当時は60センチほどの大きさでした。



善明庵の松の保全活動に興味のある方・お手伝いしてみたい方は、境町公民館までご連絡ください♪

～植樹から3年後～

孫松は約3メートルの高さに



植樹から3年たった現在、「善明庵の松」の孫にあたる苗木はその後どうなったのでしょうか？松林地区で松の管理に取り組んでいる西村さん・鎌田さんにお話しをお聞きました。

植樹した3本の苗木はすくすくと育ち、現在大きいもので約3メートルの高さに成長しています。西村さん・鎌田さんなど松林地区の皆さんが中心となって、夏は除草や草刈り・冬は雪囲いをして大切に管理されているそうです。『松は横に根をはるから、下手に除草剤を使用できない。木の周りの草取りはいつも手作業だ。』と語る西村さん。

最近では管理する方々も高齢化が進んで、年々活動も大変になっているそうですが、『地域の人たちに善明庵の松を忘れないでいてほしい、もっと知ってもらいたい。』という思いで日々見守り、活動を続けているとのこと。これからもこの松が地域で大切に育てられて、地域のシンボルとして大きく成長していくことが期待されます。